

平成22年2月16日 開会
平成22年2月16日 閉会
(臨時第2回)

大山町議会会議録

(副本)

大山町議会

大山町告示第45号

平成22年第2回大山町議会臨時会を次のとおり招集する

平成22年2月12日

大山町長 森田 増範

1 日 時 平成22年2月16日 午前10時

2 場 所 大山町役場議場

○開会日に応招した議員

竹 口 大 紀

大 森 正 治

野 口 昌 作

近 藤 大 介

吉 原 美智恵

諸 遊 壤 司

小 原 力 三

椎 木 学

西 山 富三郎

米 本 隆 記

杉 谷 洋 一

池 田 満 正

西 尾 寿 博

岩 井 美保子

足 立 敏 雄

岡 田 聰

鹿 島 功

野 口 俊 明

○応招しなかった議員

なし

第 2 回 大 山 町 議 会 臨 時 会 議 録

平成 2 2 年 2 月 1 6 日 (火曜日)

議 事 日 程

平成 2 2 年 2 月 1 6 日 午前 1 0 時 開会

1 開会 (開議) 宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 12 号 工事請負変更契約の締結について

(大山町農産物処理加工施設建築工事)

日程第 4 議案第 13 号 物品購入契約の締結について

(名和小学校 P C 教室用パソコン等)

日程第 5 議案第 14 号 物品購入契約の締結について

(名和中学校校務用及び P C 教室用パソコン等)

日程第 6 議案第 15 号 平成 21 年度大山町一般会計補正予算 (第 7 号)

日程第 7 議案第 16 号 平成 21 年度大山町水道事業会計補正予算 (第 4 号)

本日の会議に付した事件

1 開会 (開議) 宣告

1 議事日程の報告

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 議案第 12 号 工事請負変更契約の締結について

(大山町農産物処理加工施設建築工事)

日程第 4 議案第 13 号 物品購入契約の締結について

(名和小学校 P C 教室用パソコン等)

日程第 5 議案第 14 号 物品購入契約の締結について

(名和中学校校務用及び P C 教室用パソコン等)

日程第 6 議案第 15 号 平成 21 年度大山町一般会計補正予算 (第 7 号)

日程第 7 議案第 16 号 平成 21 年度大山町水道事業会計補正予算 (第 4 号)

出席議員 (1 8 名)

1 番 竹 口 大 紀	2 番 米 本 隆 記
3 番 大 森 正 治	4 番 杉 谷 洋 一
5 番 野 口 昌 作	6 番 池 田 満 正
7 番 近 藤 大 介	8 番 西 尾 寿 博
9 番 吉 原 美 智 恵	1 0 番 岩 井 美 保 子
1 1 番 諸 遊 壤 司	1 2 番 足 立 敏 雄
1 3 番 小 原 力 三	1 4 番 岡 田 聰
1 5 番 椎 木 学	1 6 番 鹿 島 功
1 7 番 西 山 富 三 郎	1 8 番 野 口 俊 明

欠席議員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 …………… 諸 遊 雅 照 書記 …………… 柏 尾 正 樹

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 森 田 増 範	教育長 …………… 山 根 浩
総務課長 …………… 田 中 豊	企画情報課長 …………… 野 間 一成
住民生活課長 …………… 小 西 広 子	建設課長 …………… 押 村 彰 文
農林水産課長 …………… 池 本 義 親	水道課長 …………… 船 田 晴 夫
福祉保健課長 …………… 戸 野 隆 弘	人権推進課長 …………… 近 藤 照 秋
観光商工課長 …………… 小 谷 正 寿	大山振興課長 …………… 福 留 弘 明
診療所事務局長 …………… 斎 藤 淳	地籍調査課長 …………… 種 田 順 治
教育次長 …………… 狩 野 実	学校教育課長 …………… 林 原 幸 雄
社会教育課長 …………… 手 島 千 津 夫	幼児教育課長 …………… 高 木 佐 奈 江
農業委員会事務局長 …………… 高 見 晴 美	大山支所総合窓口課長 …………… 麴 谷 昭 久

午前 1 0 時 0 2 分 開会

○局長（諸遊雅照君） 互礼を行います。一同起立。礼。着席。

開会・開議・議事日程

○議長（野口俊明君） ただいまの出席議員は、18人です。定足数に達していますので、平成22年第2回大山町議会臨時会を開会いたします。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（野口俊明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定によって、3番 大森正治君、4番 杉谷洋一君を指名します。

----- . -----

日程第2 会期の決定について

○議長（野口俊明君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日限りにしたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日限りに決定いたしました。

----- . -----

日程第3 議案12号

○議長（野口俊明君） 日程第3、議案第12号 工事請負変更契約の締結について（大山町農産物処理加工施設建築工事）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい。おはようございます。ただいまご上程いただきました議案第12号 工事請負変更契約の締結について大山町農産物処理加工施設建築工事、これの工事請負変更契約の締結についての提案理由の説明を申し述べさせていただきます。

平成22年2月10日付けで大山町農産物処理加工施設建築工事の変更仮契約を締結したところでございます。

この工事請負変更契約を締結することについて、地方自治法第96条第1項第5号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

契約の目的は、大山町農産物処理加工施設建築工事でございます。

変更後の契約金額は、2億1,048万3,000円で、元請負代金に対する増減額は、1,308万3,000円の増額でございます。工期と契約の相手方に変更はございません。

変更の概要は、加工内容や将来計画の詰めが進んだことに伴います、設備内容の見直しと外構工事を中心といたしました環境整備などでございます。以上で議案第12号の提案理由の説明を終わります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（野口俊明君） これから、質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（8番 西尾寿博君） 議長、8番。

○議長（野口俊明君） 8番 西尾寿博君。

○議員（8番 西尾寿博君） 先ほど説明をお聞きしましたが、いつもこういった工事が出るときにはですね、地元業者に仕事を回せないかというようなことがいつも議論に出るわけです。今回その建屋の場合はなかなか難しいのかなと、あとは機械の設置というのも大変難しいなというふうに考えますが、今回この1, 300万円の追加工事の中には、外構工事というのが半分以上入っております、その中で舗装工事という部分を拾い出しますと、これが540万円ほどございます。まあ図面も見てもですね、大きな機械を入れてどんどんするような工事でもなさそうにみえます。裏側であったり、狭いところであったりするわけですが、まあこれ当初になかった碎石をやる、するという工事が舗装に変わったわけですし、この相手がゼネコンであるわけですが、その辺りをですね、地元業者、これできそうですが、何とか回すような話ができるかどうか、お伺いしたいと思います。

○議長（野口俊明君） 町長。森田増範君。

○町長（森田増範君） 西尾議員さんのご質問についてでございますけども、詳細についての検討を担当課の方でしておると思っておりますので、担当課の方から説明をさせていただきたいと思っております。

○大山振興課長（福留弘明君） 議長。大山振興課長。

○議長（野口俊明君） 大山振興課長、福留弘明君。

○大山振興課長（福留弘明君） ただいまのご質問にお答えをさせていただきます。外構工事のうちの特に舗装部分について、まあ別件での地元業者が受注できるようにすることはできなかったのかというご趣旨かと思っておりますが、確かにご指摘のとおり、舗装工事が主でございますので、その部分だけを切り出せば、ご指摘の方法もとれたかかもしれませんけれども、ご承知のとおり、この事業が平成20年度の繰越事業でございます、工期に非常に制限がございます。複数の部分の工事を同時並列的に行っている関係もございます。路盤等の工事との取り合い等の関係もございますので、本件につきましては、本体の施工業者でありますものに合わせて一括施工の方が望ましいものと判断をさせていただいたところでございます。なお実際の現場での施工につきましては、地元業者の活用については配慮を求めたいというふうに考えております。以上です。

○議長（野口俊明君） 他に質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（野口俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（野口俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。これから、議案第12号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（野口俊明君） 起立多数です。したがって、議案第12号は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案13号

○議長（野口俊明君） 日程第4、議案第13号 物品購入契約の締結について（名和小学校PC教室用パソコン等）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい、議長。ただいま上程いただきました議案第13号 物品購入契約の締結について、名和小学校パソコン教室用、パソコン等、この物品購入契約の締結について、提案理由の説明を申し述べさせていただきます。

本案は、物品購入契約を締結することについて、地方自治法第96条第1項第8号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、本議会の議決を求めるものでございます。

この度購入いたします名和小学校パソコン教室用パソコン等は、現在、名和小学校パソコン教室に導入されています機器を更新するものでございます。去る2月10日に県内の4業者を指名し、競争入札を実施いたしました結果、税込み金額1,564万5,000円で、米子市両三柳2864-16 株式会社ケイズ代表取締役 松本啓が落札し、過日物品購入仮契約を締結いたしましたところであります。

なお、納入期限は平成22年3月30日といたしておるところでございます。以上で議案第13号の提案理由の説明を終わります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（野口俊明君） これから、質疑を行います。

○議員（4番 杉谷洋一君） 議長、4番。

○議長（野口俊明君） 4番 杉谷洋一君。

○議員（4番 杉谷洋一君） まず、この入札結果でございますけれども、このところに1社だけがということになっておりまして、2社が辞退、1社が失格というようなことになって、その辺りの話を聞かせて欲しいと思いますし、それから今回の1,500万の予算で更新ということになってるわけなんですけれども、このパソコンの台数、子ども用、児童用の台数はいくらかということとですね、あとはこのパソコンが更新するのは、いつ、前入っておったかということとですね、購入されていたかということをお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（野口俊明君） 町長。森田増範君。

○町長（森田増範君） 杉谷議員さんの質問に詳しく担当課の方から述べさせていただきますと思いますが、失格、辞退の件についてでございます。2社につきましては、辞退の申し出がございました。そして失格という業者につきましては、時刻になっても来

られなかったというところで失格ということで、結果的に1社での入札ということになったところでございます。あとの点につきましては、担当課の方から述べさせていただきます。

○教育長（山根 浩君） 議長、教育長。

○議長（野口俊明君） 教育長、山根 浩君。

○教育長（山根 浩君） 詳細につきましては、担当課長の方からお話もしますけれども、わたしの方から経済危機対策と学校ICT環境整備事業で行う6月補正で補正いただいたものがございます。ご存じのように、民主党の政権になりまして、事業仕分けになって非常に交付決定が遅れたという形の中で遅くなったということでございます。で、教育用パソコンでございますけれども、いずれも今回買いますパソコン、サーバーとか、プリンターも含めまして、全てリースが終了したものでございます。ちなみにいいますと、大山町の小中学校7校と赤松分校におきまして、教育用のパソコン、生徒用のパソコンが、全部で小中学校合わせて263台でございますし、教育用、校内用のパソコン、要するにクラスの中にある、教室の中にあるパソコンが、89台ございます。それから先生方が、特に中学校、小学校も当然ですけれども、活用していただいておりますのが、159台があるのが現状でございます。その内、今年度でリースが終了する台数が、生徒の教育用パソコンが84台、それから教室の分が89台中41台、それから先生方のパソコンっていいですか、それが70台でございます。そういった形で、パソコンの、で、今回の分のは、リースではなくて、合計いたしますと195台ですけれども、買い取りにさせていただきます生徒、先生方に利用していただくということでございます。これが、今まではリースであったのが、今回のこの195台につきましては、買い取りでいくという形でございます。以上でございます。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

〔「13号が195台?」「えっ?」「13号が195台?」「13号が195台で…、えっ、ああ、13号」というものあり。〕

○議長（野口俊明君） 近藤議員、議長の許可を求めてから発言してください。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 杉谷議員さんのご質問にお答えいたします。名和小学校のパソコン教室のパソコンの台数、教育用のパソコンが43台、それから校務用と教育用といたしまして、サーバー用のパソコンが2台、合計45台の導入を予定しております。以上です。

○議長（野口俊明君） 他に質疑ありませんか。

○議員（4番 杉谷洋一君） すんません。議長。

○議長（野口俊明君） 4番 杉谷洋一君。

○議員（4番 杉谷洋一君） そうしますとですね。他の学校にもですね、古い、今さっきこれ聞いたら何年に入っておるかという話がなかったんですけど。まずちょっとそれをお聞かせください。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 先ほど教育長申しましたように21年度にリースが切れるものでして、これは5年リースで行っております。遡りますと平成17年度の導入ということです。

○議員（4番 杉谷洋一君） はい、分かりました。了解しました。

○議員（2番 米本隆記君） 議長、2番。

○議長（野口俊明君） 2番 米本隆記君。

○議員（2番 米本隆記君） この指名競争入札結果、今いただいているんですが、辞退が2社、それから失格が1社ということで、まあ選定されてました株式会社ケイズ、これが1社が入札ということになっております。

まず1点目ですけども、第1回入札、第2回入札というふうになっておりますが、これについて1社の場合であれば、何故2回目が入札があったのか。それと元々の問題ですけれど、この辞退、また失格になった業者の選定について、これは問題があったのではないかとわたしは思いますが、その辺についてはどうだったのでしょうか。

まず、このように1社が入札で決定するのであれば、これは随意契約とまるっきり変わらないのではないかとというふうにわたしは思いますが、それについてどういう見解を持っておられるのか、答弁をお願いします。

○議長（野口俊明君） 町長。森田増範君。

○町長（森田増範君） 米本議員さんの質問につきまして、詳細について担当課長の方から述べさせていただきます。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） ただいま米本議員のご質問、指名の仕方ということでございますが、業者指名については指名審査委員会といった中で決定をさせていただいております。不公平な指名というようなことは、全然毛頭思っておりません。町内でお付き合いのある業者さんということで、まあ町内には無いですけれども西部管内ということで、お付き合いのある業者さんを指名しております。辞退ということは、どういう理由があったのか、こちらでは把握できません。それと、もう1社、何も連絡なしに入札時間に来られなかった。後で連絡もなかったということでご理解をいただきたいと思いません。

○議長（野口俊明君） 他に。

○議員（2番 米本隆記君） あっ、待ってください。と、もう1個ありますよ。何故2回入札したかということ聞いてますけど。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 失礼しました。答弁漏れでございますが、入札の条件の中に入札の回数の制限は設けておりません。ので、2回、3回という入札に至っております。最終的に予定価格に合わない場合も出てきますので、その時点で随契というふうな切り替えをさせていただいておる。最初の入札条件の中に1回というようなことはありませんので、落ちるまでやるということで、「落ちるまで？」という者あり）お落ちるまでというか、あの、回数の制限はしていないということでございます。

○議員（2番 米本隆記君） 議長、2番。

○議長（野口俊明君） 2番 米本隆記君。

○議員（2番 米本隆記君） 今、課長の答弁の中で、落ちるまでというふうな言い方がありましたけど、第1回入札で金額が決れば、まず最初はそこで決まるというふうに思いますが、2回目以降の入札が必要ないでないかというふうに思うんですが。それと

先ほど、その指名審査委員会で、審査をしてその業者を決定したということでもありますけども、この指名審査委員会っていうのは、今までの納入、物品納入の実績あるところがやっぱり指名されると思うんですが、そういうところが何故辞退とか、失格になるようなところを選定されるのか。その辺のところはあと、後日にでも理由は聞いておられるかどうかということをお聞きしたいと思います。

○議長（野口俊明君） 町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 米本議員さんの方の2点の質問でございます。予定価格、まず価格の入札ということについての1回、2回ということでございますけども、入札をするにあたりまして、予定価格を設定をいたしております。予定価格をオーバーする場合、1回目、2回目、3回目、オーバーする限り、入札の回数が重なります。従いまして今回2回ということですので、2回目で予定価格を下回ったということでご理解を願いたいと思います。そして、指名審査会につきましては、担当課の方から述べさせていただきます。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 辞退の理由ということでございますが、わたしは確認しておりません。業者さんの都合であると思っております。

○議員（11番 諸遊壊司君） 議長、11番。

○議長（野口俊明君） 11番 諸遊壊司君。

○議員（11番 諸遊壊司君） わたしも杉谷議員や米本議員と同じような質問になり

ますけども、わたしパソコンの価格のことに關しては、誠に無知でございまして、まあトラクターやコンバインはよく分かりますけども、値段的に。この相場がどうか、あまり不得手でございまして。問題は、入札されたけども、今、米本議員がおっしゃったように、辞退が2社で失格が1社、で、結局1社の入札をされた。で、予定価格より町が思ってる入札価格高かったの、2回目をされた。これは、この辞退されたのがまずいつだったのか。入札っていうのは、せめて、その場で札を入れて、2社以上、複数以上が入れてこそ入札だと思う。この辞退っていうのが、その当時、その日に、その時点で、入札の時点で分かったのか。もしその以前に分かった、辞退されると分かっているならば、やっぱり入札なら複数が、札を入れて勝つの当たり前だよと思いますけども、いかがでしょうか、

○議長（野口俊明君） 町長。森田増範君。

○町長（森田増範君） 辞退の業者の方の日付等については担当課長の方から申し述べさせていただきたいと思ひます。

入札の關係の中で、辞退、失格ということについてなんですけれども、その当時、当然時間があるまで、2社の業者があるということを想定しておるわけでありまして、結果として、時間経っても来られないということの中で、まあ1社での入札を行ったという現状であると、をお伝えしたいと思ひます。

〔「議長、8番」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） まだ、待ってください。

○議員（11番 諸遊壊司君） 議長、じゃあ…。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 辞退された2社の日付がいつかということですが、これは入札日までに辞退届を出していただいております。先ほど町長が申しあげましたように、失格となった業者はあくまでも来られるものとして、入札の時間を迎えておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

今ご議論されている中で、わたしは設計額の部分で設定のことが問われているのかなと思ひますので、担当課の方でその設計額の部分については、説明させたいと思ひます。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） ただいまの設計額1, 500、設計額についてなのですが、名和小学校は、一応設計額1, 617万円を予定しておりました。それから入札の結果、1, 564万5, 000円ということで落札しております。約97%、設計額の97%で落札しております。で、この設計についてですけど、先ほど申しあげましたように、リースが切れるものを新しく買い換えようという計画でありまして、リースも一度

に入れているものですから、それだけの台数にもなりますし、それを買取りということになるとかなりの金額にもなってしまう。で、設計の段階では、この程度の台数であれば、納入できる業者があるはずだということで設計をしております。以上です。

○議員（7番 近藤大介君） 議長、7番。

○議長（野口俊明君） 7番 近藤大介君。

○議員（7番 近藤大介君） 物品購入の契約に関していろんな今回質疑が起きてるんですけど、共通してるのは、今回の入札結果について4社も業者指名してありながら、結果的に入札、札を入れたのは1社しかなかったと。しかも次に出てくる案件も同じ結果だということに関して、非常にわれわれ議員としては、いかがなものかと、ちょっと問題があるんじゃないかというふうに考えておるからだと思います。

で、今回受注されたのは、株式会社ケイズさんですが、この質問は担当課及びそれから町長部局の方からも是非お答えいただきたいと思うんですけども、今大山町に納入されておりますパソコン、特にリース物件に関しては、ほぼ全部ケイズさんが納入されているというふうに思っております。購入は別の業者から買った分もあったかもしれませんが、ケイズのシェアが圧倒的に多いという中で、今回もケイズさんが受注されている。しかも落札価格は、ほぼ予定価格に近いところだと、まあ値引きがあまりされていないということですよね。ここにわれわれは本当に公正な入札が行われたんだろうかというふうに疑問を抱くわけでありまして。

例えばKOAさんなり、リコーさんなりも同じようなご商売をしておられるわけで、あるいは他の業者でもパソコンの販売もあるわけですけども、現実問題、大山町のさまざまな税金だったりとか予算の関係のシステムですね、ソフトウェアの部分でケイズさんが受けておられるということもあってなのかもしれませんが、他の業者が入札に非常に参加しにくい状況があるのじゃないかと、で、もしそれを改善することによって、より公正な入札が可能であるならば、そういった努力をすべきじゃないかと思ったりするわけなんですけども、質問としては、そういった公正な入札が行われるような努力がどの程度なされたのかということでお答えをお願いいたします。

○議長（野口俊明君） 町長。森田増範君。

○町長（森田増範君） 近藤議員さんの方から公正な入札への努力ということについてのご質問であったと思います。入札の指名審査委員会というところの中で、協議をするところでございまして、所管する担当課長の方からその件について述べさせていただきたいと思います。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） ただいまのご質問でございますけれども、特に物品関係につきましても、かなり納入に当たっては、安い価格で納入されるということがいろいろ

ございますので、設計にあたって各課に指示を出しておりますのは1社だけの見積もりとかそういったもので、価格を設定するなということ数社の価格見積りにしたがって設計をしておるといふことでございます。工事のように物価が示されていない部分がございますので、物品関係につきましては、事前に見積りをいただけない、数社の見積りをいただいた上で設計額を決定しておるといふ状況でございます。今回の辞退が、偏った業者に落札するような仕方ではなかったとわたしは考えております。

○議長（野口俊明君） 他にありませんか。

○議員（7番 近藤大介君） 教育委員会の方からは特にはないですか。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 教育委員会の方で設計段階ですけども、いろいろとパソコンの内容とかそういうものは事務局の方で、いろいろと吟味をさしていただいて、必要な、必要最低限といいますか、このぐらい必要だというレベルのパソコンで設計をさせて設計をさしていただいております。金額についても、ぎりぎりの金額で設計したつもりであります。以上です。

○議員（7番 近藤大介君） はい、了解しました。

○議員（10番 岩井美保子君） 議長、10番。

○議長（野口俊明君） 10番 岩井美保子君。

○議員（10番 岩井美保子君） 問題になっておりますが、勉強不足ですので、ちょっと分からないんですが、これ今までリースだったということなんですが、今回は新しく買うんでしょうか。新しいものを買うんでしょうか。そうした場合には、リースであったものをどのような形になるんでしょうかと思ひまして質問でございます。

○議長（野口俊明君） 教育長 山根 浩君。

○教育長（山根 浩君） 岩井議員さんにお答えします。今までは、リースという形ですので、リースもご存じのように、5年間できちんと業者もきちんと儲けが出るって言いますか、なるようになっておりますけれども、今回は買い取りにさせていただきます。リースでなくて買い取りだと。だから次年度からのランニングコストがかからないという形になってくるだろうと思っております。確かにリースの場合は次々に、新しいいいものがどんどん出てくる時っていうのは、買い取りっていうのは非常に危険がある面ではあると思ひますけれど、ある面でパソコンも非常に成熟製品になってきましたので、買い取りでも一つも問題でないでないかというふうに考えております。以上です。

○議員（1番 竹口大紀君） 議長、1番。

○議長（野口俊明君） 1番 竹口大紀君。

○議員（1番 竹口大紀君） わたしはトラクター・コンバインの値段にはちょっとうといもんですけども、パソコンは多少かじっておりますので、金額の詳細、購入契約の

内容についてもうちょっと詳しく聞きたいなと思っております。

今、13号議案約1,500万で台数が合計で45台ぐらいというようなことでしたけれども、例えば1,500万45台ですと単純に1台、35万ぐらいですかね、になっちゃうかと思うんですが、その他購入する物品がパソコン以外にあるのかどうか。またリースではないので、メンテナンス等ほぼない契約だと思いますが、そこら辺の詳細をお願いします。

○教育長（山根 浩君） 議長、教育長。

○議長（野口俊明君） 教育長、山根 浩君。

○教育長（山根 浩君） 担当課長の方からお願いします。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 竹口議員さんのご質問にお答えいたします。パソコンを45台と申しましたけども、若干生徒用とそれから教師用、あるいはサーバーというものでランクを分けております。

教育用のワークステーション用、先生が使われるパソコンについては約40万円程度、生徒用の教育用のデスクトップパソコン、これが18万円程度、それからサーバーにいたりましては、サーバー用が57万円程度、それから周辺機器ということで、レーザープリンター等の、それからソフトウェアの購入を予定しております。あとこまごましたものも多少ございます。以上です。

○議員（1番 竹口大紀君） 議長、1番。

○議長（野口俊明君） 1番 竹口大紀君。

○議員（1番 竹口大紀君） もうちょっと詳細を聞きたいと思いますが、そうですね、選定、機種がまああったのかどうかと、その業者の納入する機種、それから先ほど説明がありました生徒用、教育用は18万、教員用40万円、サーバーで57万円ということですが、これ後でソフトウェアだっという話が出てきたんですが、これ全くソフトウェアを含まない、パソコンだけでこれぐらいの金額になってるのか、というところの詳細をお願いします。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 先ほどのご質問ですけども、機種は指定しておりません。内容につきましては、まずCPUとか、メモリーそれからハードディスクの容量を変えております。それによってパソコンごとの金額が変わってまいっております。それからソフトウェアでございますが、通常入っておるソフトウェア以外に、教育用に使うソフトウェア、独自のものを導入するように計画しております。で、保守につきましては、今保守点検の契約を結ぶ予定はございません。以上です。

○議員（1番 竹口大紀君） 議長、1番。

○議長（野口俊明君） 1番 竹口大紀君。

○議員（1番 竹口大紀君） ということは、本当に業者がパソコンを仕入れて、ソフトウェアを仕入れてきて町に販売ということに近い、限りなく近いような契約かと思うんですが今の説明、いただいた説明では、となるとそのシステム関係ですとか、まあネットワークの設定はできるだとかプログラムができるだとかっていう技術的な要因ってのは、ほとんどないわけで、もしかしたらパソコンの仕入れができる町内業者でも、競争入札、入札の業者に指定したりとかっていうことができるかと思うんですが、その辺の検討はされていないのかどうかっていうことをお願いします。

○議長（野口俊明君） 町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 竹口議員さんのご質問では、入札の指名審査委員会に関わることであると思いますので、所管の課長の方から述べさせていただきます。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） ただいまのご質問でございますけれども、指名審査委員会の中では、設計された部分について環境設定が伴うということで、指名審査委員会の方では判断し、今回の業者選定になっておると思っております。以上です。

○議員（1番 竹口大紀君） 了解。

○議員（8番 西尾寿博君） 議長、8番。

○議長（野口俊明君） 8番 西尾寿博君。

○議員（8番 西尾寿博君） 何か話が戻るようですが、買い取りという言い方がですね、実はリースの古いやつを買い取ったのかというような実は話がありますが、違いますよね。新品ですよ、分かりました。

それですよ、わたしもパソコン何台か持ってるわけですが、子どもが使うパソコンがですね、どのような機能が付いてるのかよく分かりませんが、わたしは18万というパソコンを持っておりません。今どきそうですね、10万前後が普通じゃないかな、とパソコン買われた方はたぶんそのぐらいがだいたい常識だとわたしは思います。教師がですね、特別に40万のやつがいるといえまあそうでしょう。まあ、そりゃあまあわたしはそれは実は高いと思っています。現実問題としてね、だから問題は入札のやり方に問題があるというようなことを全体的に議員は感じ取っとる。だからこのような質問がどんどん出るとわたしは思います。

だからですね、この問題があるのは、機種指定がないというのはね、これはどうやってじゃあ設計段階でやったのかな、機種が分からないのに設計なんかどうやって金額を入れるんですか。これちょっと難しい問題だなと。物が分からんのに、値段が分からんでは。誰もがまた疑問持ちますよ。これ機種があるから値段が確定できて、だから

そこで設計金額が出てくるんじゃないか、これが普通じゃないですか。機種が分からないのに、どうやって金額を出すのか不思議でかなわんですけども、この程度ならいいだろうというということで18万設定したのか。それとすればですね、わたしは高い。わたしはそんな高いやつ持ってませんので。子どもがどの程度の能力があって、教育用ですから、もうちょっと単純なもんでも構わんと思いますし、わたしはそのように考えます。まあこれ機種指定ないっていうことですからまあいいですけども、その購入された機種を教えてください。たぶんすべて一緒だと思いますんで、一括購入ということですから、同じ子ども用で同じ機種、まあ先生の2台分もまあ教えてください。まあ問題はそのような決め方も実はどうやって金額を設計したのかということもまあ含めてですね、この3点ほど教えてください。

○教育長（山根 浩君） 議長、教育長。

○議長（野口俊明君） 教育長、山根 浩君。

○教育長（山根 浩君） 詳細につきまして、学校教育課長の方からお答えいたします。。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） 西尾議員さんのご質問ですけども、まず金額が高いというふうに言われました。実は今回買い取りということ、これから5年以上使わなければならないというふうな基本的な考え方がございまして、それに耐えられるような容量のものを入れているという基本的な考え方で行っております。

で、まあよく言われるOSというものですけども、ウィンドーズ7ということ、新しいOSも予定しております。その関係で、いろいろとメモリーとかハードディスク、CPU、大きなものを、比較的大きなものを予定しておりますので、金額は上がってきたと思います。

それから機種設定でございしますが、基本的に入札する場合に、機種の設定はしないという基本的な考え方がございまして、で、一応パソコンの世界では、CPUあるいはハードディスクの容量、メモリーの容量、というものを指定すれば、おのずとそのような機種が出てくるというふうに理解しておりますので、それによって設計をさせていただきました。よろしいでしょうか。

○議員（8番 西尾寿博君） それで結局入れたのは何ですか。

○学校教育課長（林原幸雄君） それで今仮契約でしてまだどのような機種だということの確認をしております。これから提示をされると思います。

○議員（8番 西尾寿博君） 議長、8番。

○議長（野口俊明君） 8番 西尾寿博君。

○議員（8番 西尾寿博君） 何かね、実は聞いてってね、何か相手まかせみたいな気がするんですけども、わたしだけでしょうか。値段は実は決めました、このような容量

のあるものを実はお願いしますと言いながら、じゃあ入札でOKとったんですけれども、実は何がくるか、実は分からないという状況なんですよ。これ、そんなことで俺、わたしですよ、何か納得できんなと思うんですけども、普通、物を買う時にね、物が分からんけども、このようなものでOKですかみたいな話で、機種も分からない、このような容量でこのような機能がついて、もうそれだけでOKということでどうもとっとるみたいですが、わたしはね、そのようなやり方がこれからも、例えばずっと言ってますよ。1社だけ。で、次の14号もまた同じ方で1社ですよ。このようなことを続けていいもんかどうか、ちょっとおかしいと思うんだけどね、わたしは。わたし個人として、もし買う場合にね、そんなの買いませんよ。そりゃあ、町民が見ておっぺおかしいと思いますが、どうでしょうか。町長。

○議長（野口俊明君） 町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 設計の内容であつたりとか、西尾議員さんの方の質問に対して、お答えさせていただきます。

設計の額であつたり内容等についてはそれぞれの部署の方で検討をし、吟味をして提示をするところでございますけども、指名審査の中で、結果的に環境整備の関係であつたり、適当であるという事業者を選定をして当日まで臨んだという状況でありまして、結果的にこのたび、1社ということになったということについて、今後については当然、こういう事態について検討し、検証し、対策を講じながら進めなければならないという具合に思っておりますけれども、このたびの入札についてはこういう形の中で、結果が出たというところでありますので、その点についてはご理解を願いたいと思っております。今後については、議員の皆さん方の方からのご心配、ご指摘があつてる案件でありますし、内容についても当然所管する課の方からも、ご指摘の案件についてのことについて、今後につながるような考え方で取り組みを進めなければならないと思っております。

○議員（16番 鹿島 功君） 議長、16番。

○議長（野口俊明君） 16番 鹿島 功君。

○議員（16番 鹿島 功君） 今、大変質問も出ておるようですけれど、問題はですね、1社であとは辞退してしまったというところが問題であると。で、いろいろ話を聞くとそのケイズは、大山町の、新町になってからですね、システム等いろんなソフト等にもケイズが入って世話になっておるということであつて、その関係で大山町ではケイズが独占しておるというような、ちょっとどっちかというと取れる。で、問題はですね、それはそれでいいんですけれど、だったらなら、こんな指名競争入札なんて有り得んですわい。もうちょっと上手に辞退せずになんぼつてことが出たらなら、みんなも分からんわけですけども、誰もが辞退してしまつて、1社でこれだけで、1回目やつて2回目なんて、そがな競争入札なんてない。で、まあ上手に町長も答弁されたんですけどね、

結果的にケイズでないと他のシステムが回らんというのであれば、それなりの理解もするんですけども、指名委員会で指名して、するんだったらこんな入札結果出す指名委員会はおかしい。

で、どうするかということになれば、はっきり言ってこのケイズのシステムを崩してですね、まあとにかく1文でも安いものを取れるということになれば、皆さん弾んでこの入札に入られるでしょうけど、ケイズそのものがですね、「お前来るな」と「大山町は全部わしのシャバだと、お前荒らしたらいけんぞ」と「島だぞ」、というような話になって業者間がもう絶対大山町は組めんということにまあおそらくなっておるんじゃないかなと、業者の方ですよ。だけどそれを黙ってですね、そのこういう形の入札結果を出されるちゅうことは、ああおかしいなということですので、その辺も含めてですね、今後本当でこれが無いのか、こういうことがないのか、ケイズ、そういう他のシステムですね、ケイズ以外で、ここでとっていかれるのか。あるいはもういろんな関連を含めてですね、システムそのものが、もう関係ないよと、どんな業者でもやれますよというのか、そこだけを聞いてですねおしまいにしたいと思いますので、ちょっと私のそこだけを教えてください。

○議長（野口俊明君） 町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 鹿島議員さんの質問につきまして、これまでの経過というのがあります。所管の課長の方から述べさせていただきたいと思います。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 入札の関係でございます。たまたま1社になってしまったということですが、この件につきましては、工事等においても有り得ることでございまして、そこはご理解をいただきたいと思っております。それとわたしの方の立場から申し上げますけれども、学校の生徒用っていうか、教師と生徒の関係の部分でございまして、その学校だけで動ければ、システムがですね、動けばいい部分でありまして、別にケイズということではなくて、対応できるとわたしは思っております。たまたま今回同じようなことになってしまいましたけれども、総合行政等とは違いまして、学校単体で動けるシステムでございますので、わたしは参入は十分考えられると思っております。たまたまケイズだったということで、結果です。わたしはそう考えております。

○議員（12番 足立敏雄君） 議長、11番。

○議長（野口俊明君） 11番？

○議員（12番 足立敏雄君） ああ、ごめん12番。失礼。

○議長（野口俊明君） 12番 足立敏雄君。

○議員（12番 足立敏雄君） すいません。先ほどちょっと聞いてて、なんかつじつまが合わないところがあったので、ちょっと確認したいと思います。

まず、予定金額1,617万でしたか、これは消費税も含んでの値段で1,617万でまず合ってるかどうか。

それからもう一つは、第1回目1,520万で、これは予定価格より高いからもう1回やって1,490万になったというふうに聞いたんですが、このところがちょっと矛盾すらへんかと思うので、確認まずお願いします。

○**学校教育課長（林原幸雄君）** 議長、学校教育課長。

○**議長（野口俊明君）** 学校教育課長、林原幸雄君。

○**学校教育課長（林原幸雄君）** 足立議員さんのご質問ですけども、1,617万って申しましたのは、設計額でございます。で、実際入札のときの予定価格はこれより低い金額でございます。以上です。

○**議員（12番 足立敏雄君）** 議長。

○**議長（野口俊明君）** 12番 足立敏雄君。

○**議員（12番 足立敏雄君）** そうすると設計額じゃなしに、入札予定額はいくらでやったですか。

○**議長（野口俊明君）** 執行部の方をお願いします。質問は町長、または教育長にいけますので、その受けた方が担当課に振っていただきたいと思います。

○**議長（野口俊明君）** 町長、森田増範君。

○**町長（森田増範君）** 書類の関係、教育委員会の方でございますので、そちらの方から述べさせていただきます。

〔「議長、休憩」の声あり〕

○**教育長（山根 浩君）** 議長、教育長。

○**議長（野口俊明君）** 所定のあれがありませんので、続行します。教育長、山根 浩君。

○**教育長（山根 浩君）** 担当課長の方からお答えさせていただきます。

○**学校教育課長（林原幸雄君）** 議長、学校教育課長。

○**議長（野口俊明君）** 学校教育課長、林原幸雄君。

○**学校教育課長（林原幸雄君）** 予定価格であります、税抜きで1,500万。

○**議長（野口俊明君）** 他に質疑ありませんか。

〔「なし」「まんだ継続しとるよ」の声あり〕

○**議員（12番 足立敏雄君）** だけん、1,500万の…。

○**議長（野口俊明君）** 12番 足立敏雄君。

○**議員（12番 足立敏雄君）** 1,500万が予定価格だったんなら、理解できますけれども、ただどこでね、やっぱり入札をしてないからこういうことになって、最後に2回目をやってというような形になっておるわけですよ。入札をきちんとやっておったらひよっとしたらもっと結果違ってたかもしれないわけで、やはり入札を1社でや

るという弊害は必ず出てくるわけですから、それについて今議員がみんな不思議がって
るわけですし、そここのところやっぱり回避するためにも、入札をやり直すとか、事前に
こういう事態が分かっておったら、何とか他の業者も探すとか、そこらのところをこれ
から改善していかないと、これまたおんなじ問題が何回も出てくる結果になると思いま
すが、その辺は町長はどういうふうに考えておられますか。

○議長（野口俊明君） 町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 詳細についてできるかどうかというのも含めて担当課長の方
から少し述べさせていただきますと思います。

〔「議長、休憩をお願いします。」の声あり〕

○議長（野口俊明君） 暫時休憩します。

午前 11 時 休憩

午前 11 時 11 分 再開

○議長（野口俊明君） 再開します。答弁。町長、森田増範君。

○町長（森田増範君） 先ほどいただきました質問につきまして、担当課長の方から述
べさせていただきますと思いますので、よろしく願いいたします。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 入札の制度の中で、特定、まあ本町の大半のパソコン等に
つきあいがある業者が落札したということで、いろいろ出ておりますけれども、これを
途中で入札をそういう状況が出たことで、途中で入札の執行を止めるということにはな
らないということをご理解をいただきたいと思えますし、先ほども申し上げましたよう
に、メーカー、製造メーカーを指定しておるわけでもございません。何故、2社の辞退
が出たということについては、先ほど休憩時間に担当職員に確認しましたけれども、理
解ができないということでございます。

また失格業者につきましては、ペナルティーということもございますが、事前に辞退
をされた業者についてペナルティーを課すというようなこともできませんので、その辺
は入札制度についてのご理解をいただきたいと思えます。以上であります。

○議長（野口俊明君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議員（3番 大森正治君） 議長、3番。

○議長（野口俊明君） 3番 大森正治君。

○議員（3番 大森正治君） もうちょっとはつきりさせてね、採決に臨みたいと思
いますので、いろいろ議論を聞く中で、だいたい分らない部分やうやむやな部分がか
つてきたようにわたしは思うんですが、わたしも学校においてこのパソコンの機能
って、このをこれが必要だっというのをちょっと疎いもんですから、十分分らない点があ

るのでお聞きしたいと思うんですけども、それぞれの価格が児童用が18万円、教師用が40万円、サーバー用が57万円ということですけども、これはそれなりの機能が必要だろうと思うんですが、その辺の詳しい、それぐらいの機能がないと駄目だと。こういう点でこれぐらいの価格のものが必要なんだということを説明していただければ、なるほど多少高いようだけれども、これぐらい必要だなということで納得できると思いますので、説明願いたいと思います。

○教育長（山根 浩君） 議長、教育長。

○議長（野口俊明君） 教育長 山根 浩君。

○教育長（山根 浩君） 学校教育課長の方からお答えさせていただきます。

○学校教育課長（林原幸雄君） 議長、学校教育課長。

○議長（野口俊明君） 学校教育課長、林原幸雄君。

○学校教育課長（林原幸雄君） パソコンの能力についてですけども、学校の中で校内ランということで、各パソコンをつないだり、それから例えば教師用のパソコンであれば、生徒が全て見ている画面が全て映るとか、いろんな機能を使うということを想定しております。ですから家庭用のパソコンでは、ちょっとしにくいような動作をいかに早くさせるかということで、通常の家用的パソコンよりは、機能の高いものを設定しておりますので、金額としても高くなるというふうに思います。それから学校におきましては、いろんな情報の伝達が今メールというので行われております。その辺りの処理能力もかなり無いとメールが届かなかったりとかいうこともありますので、その辺りのことも考慮して高い性能のものを用意しております。以上です。

○議員（3番 大森正治君） 了解。

○議長（野口俊明君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。これから、議案第13号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（野口俊明君） いいですよ、座っていただいていいですよ。起立多数です。したがって、議案第13号は、原案のとおり可決されました。

日程第5 議案14号

○議長（野口俊明君） 日程第5、議案第14号 物品購入契約の締結について（名和

中学校校務用及びP C教室用パソコン等)を議題とします。提案理由の説明を求めます。
町長 森田増範君。

○町長(森田増範君) はい、議長。先ほど活発にご議論いただいたところでございますが、議案第14号 物品購入契約の締結についてということで、名和中学校校務用及びパソコン教室用のパソコン等についての物品購入契約の締結についての説明を申し述べさせていただきます。

名和中学校校務用及びパソコン教室用パソコン等に係る物品購入契約の締結について提案理由の説明を述べさせていただきます。

本案は、物品購入契約を締結することについて、地方自治法第96条第1項第8号及び大山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、本議会の議決を求めるものでございます。

この度購入します名和中学校校務用及びパソコン教室用のパソコン等は、現在、名和中学校の教職員用及びパソコン教室に導入されている機器を更新するものでございます。去る2月10日に県内の4業者を指名して競争入札を実施した結果、税込み金額1,963万5,000円で、米子市両三柳2864-16株式会社ケイズ代表取締役 松本啓が落札し、過日物品購入仮契約を締結いたしましたところでございます。

なお、納入期限は平成22年3月30日といたしておるところでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長(野口俊明君) これから、質疑を行います。質疑はありますか。

○議員(5番 野口昌作君) 議長、5番。

○議長(野口俊明君) 5番 野口昌作君。

○議員(5番 野口昌作君) さっき195台の更新をするというようなことを言われまして、それから今、小学校の方が45台ということでございますから、あと150台ほどが、ならこの中学校の分だということになるわけですか。そうすれば非常に単価的に違って来るがというような考え方、どんなものでしょうか。

○教育長(山根 浩君) 議長、教育長。

○議長(野口俊明君) 教育長 山根 浩君。

○教育長(山根 浩君) 若干説明が大ざっぱで申し訳ありませんでした。議案第14号に関しましては、教育用生徒が使いますパソコンが41台、それから校内用教室、図書室等に使いますのが11台。それから先生方に使っていただきますのが8台、の合計金額でございます。以上でございます。

[「サーバーは入っていない?」と呼ぶ者あり]

○教育長(山根 浩君) サーバーももちろんございます。失礼します。サーバーは2台予定しております。校内LANも含めまして。以上でございます。

○議員(5番 野口昌作君) はい、了解しました。

○議長（野口俊明君） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。これから、議案第14号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（野口俊明君） 起立多数です。したがって、議案第14号は、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案15号

○議長（野口俊明君） 日程第6、議案第15号 平成21年度大山町一般会計補正予算（第7号）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい、議長。ただいま上程いただきました議案第15号 平成21年度大山町一般会計補正予算（第7号）につきまして、提案理由のご説明を申し述べさせていただきます。

本案は、国の第2次補正予算が成立し、緊急経済対策のひとつとしての「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」の配分が決定したことにより、町内公共施設や公用施設の修繕工事や町道などの維持修繕及び改良工事などに取り組む方針を決定し、既定予算の補正を提案するものでございます。

予算案は既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億519万3,000円を追加をし、歳入歳出予算の総額をそれぞれ118億2,991万1,000円とするものでございます。

まず、「第1表」を歳入からご説明を申し述べさせていただきます。

第35款地方交付税は3,000万円の増額で、決算見込みにより特別交付税を追加をいたしております。

第55款国庫支出金は2億1,135万2,000円の増額で、内容は全額「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」であります。

第60款県支出金は12万6,000円の増額で、内容は県補助金の農林水産業費県補助金で、野生鳥獣等被害防止対策事業補助金の追加であります。

第75款繰入金は3,000万円の増額で、財政調整基金繰入金を計上し財源調整をいたしております。

第80款繰越金は3,371万5,000円の増額でございます。

次に歳出についてご説明を申し述べます。

歳出につきましては、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を受けて総額3億549万5,000円の公共施設・公用施設の修繕事業、環境整備事業や町道修繕及び改良事業などに取り組むこととし、関係費目ごとに予算付けをいたしておるところでございます。先ほどお配りをさせていただきました一覧表のとおりでございます。

そのほかのものとしたしまして、第20款衛生費で新型インフルエンザ対策経費の節の組替えと第30款農林水産業費の農業費の農業振興費で、野生鳥獣被害防止柵設置事業補助金26万円を追加をいたしております。

また、第90款予備費を56万2,000円減額し、収支の調整をいたしております。

次に「第2表繰越明許費」でございますが、このたびの「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を受けての事業を全額繰越し、平成22年度予算と合わせて執行していくこととしたしておるところでございます。以上で議案第15号の提案理由の説明を終わります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（野口俊明君） これから、質疑を行います。質疑はありますか。

○議員（13番 小原力三君） 議長、13番。

○議長（野口俊明君） 13番 小原力三君。

○議員（13番 小原力三君） 5ページですね、商工費の31万5,000円ですか、このご説明ちょっとお願ひします。

○議長（野口俊明君） 町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい、小原議員さんの質問につきましては、担当課長の方から述べさせていただきます。

○大山振興課長（福留弘明君） 議長、大山振興課長。

○議長（野口俊明君） 大山振興課長、福留弘明君。

○大山振興課長（福留弘明君） ただいまのご質問でございます。商工費の中にあります観光施設費の中の委託料でございますけれども、これはこの決め細やかな臨時交付金事業を活用いたしまして、旧眺海荘の屋根の融雪装置の設置工事をお願いしているところでございますが、これの設計委託料でございます。以上です。

○議員（5番 野口昌作君） 議長、5番。

○議長（野口俊明君） 5番 野口昌作君。

○議員（5番 野口昌作君） 交付金事業の明細書をもらっておりますけれども、道路改良負担金、県道の負担金がございますけれども、この県道の負担金の予定はどこの県道改良がなされているかということとですね、それからこの事業全般的に見ますに、公共施設、いわゆる役場とかですね、学校とかというものが非常に多いわけですが、この事業については、何というのですか、そういう学校とか役場というようなものをですね、優先的にしなければいけないとかというようなこと、何かあるわけで、これだけ公共施

設の方によけ使うようなことになっているのかというようなことをちょっとお尋ねします。

○議長（野口俊明君） 町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） 野口議員さんより2つの質問をいただきました。一つはこの交付金事業についての主旨であろうと思います。担当課長の方から確認の意味を含めて述べさせていただきたいと思います。

また道路関係の件につきましても、担当課長の方から述べさせていただきますので、よろしく願い申し上げます。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） 野口議員さんの質問でございます今回のきめ細かな臨時交付金の概要ということで、全員協議会の方で資料をお渡しいたしましたけれども、その2枚目に交付金の使途ということで、4番の中に、地方単独事業ということで、橋梁の補修、電線の地中化、都市部の緑化、森林の路網整備、その他公共施設または公用施設の建設または修繕にかかる事業ということで、22年度予算要求に含まれておりました単独事業、これを前倒しした格好で、町の施設の修繕工事や道路の維持、改良工事を網羅させていただいたということでご理解をいただきたいと思います。この地方単独事業に電線の地中化というようなこともございますが、緊急にこういうものを計画して取り組めるものではございません。都会の方ではこういったものに取り組めるのかもしれませんが、本町といたしましては、22年度の単独事業につきまして、前倒しをして予算付けをさせていただいたところでございます。以上であります。

○建設課長（押村彰文君） 議長、建設課長。

○議長（野口俊明君） 建設課長、押村彰文君。

○建設課長（押村彰文君） 県道負担金のご質問についてお答えをしたいと思います。この決め細やかな臨時交付金で鳥取県においても道路改良工事をされる計画になっております。この県道改良工事に伴って発生します町の工事負担金を307万5,000円、きめ細やかな交付金で充当するようにしておりますが、路線名でございますけれども、羽田井植松線の樋口、名和岸本線の佐摩坊領間、高橋下市停車場線の高橋松河原間の改良工事の計画が成されておるということで、この部分についての負担金の計上をさせていただいております。以上でございます。

○議員（5番 野口昌作君） はい、分かりました。

○議長（野口俊明君） 他に質疑ありませんか。

○議員（9番 吉原美智恵君） 9番。

○議長（野口俊明君） 9番 吉原美智恵君。

○議員（9番 吉原美智恵君） 歳入においてですけれども、ふるさと納税はありませ

んでしたでしょうか。

○議長（野口俊明君） 町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい、今回計上しておりません。ございません。

○議長（野口俊明君） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。これから、議案第15号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（野口俊明君） 起立多数です。したがって、議案第15号は、原案のとおり可決されました。

日程第7 議案16号

○議長（野口俊明君） 日程第7、議案第16号 平成21年度大山町水道事業会計補正予算（第4号）を議題とします。提案理由の説明を求めます。町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） はい、議長。ただいま上程いただきました議案第16号 平成21年度大山町水道事業会計補正予算（第4号）につきまして、提案理由の説明を述べさせていただきます。

本案の補正内容は、企業債の繰上げ償還に伴い新たに借換える企業債の追加を「第1表企業債補正」のとおり限度額4,570万円から6,610万円に増額補正するものでございます。これで、議案第16号の提案理由の説明を終わります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（野口俊明君） これから、質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員（5番 野口昌作君） 議長、5番。

○議長（野口俊明君） 5番 野口昌作君。

○議員（5番 野口昌作君） これ企業債ですので、借換えということですが、この借換えの目的とですね、それから補正前が4,570万ということになっておりますが、この今までの実行額、いくら借換えをしておられるかということをお尋ねします。

○議長（野口俊明君） 町長 森田増範君。

○町長（森田増範君） 野口議員さんの質問につきまして、担当課長の方から述べさせていただきます。

○水道課長（船田晴夫君） 水道課長。

○議長（野口俊明君） 水道課長、船田晴夫君。

○水道課長（船田晴夫君） ただいまのご質問にお答えいたします。目的でございますけれども、現在借り入れております起債のうち、金利が2%から8%ぐらいで借入れておりますけれども企業債を、これの内、財政健全化のために5%以上の高利で借りております企業債のうち、許可の出たものから繰上償還をいたしまして、市中金融機関から低利の金利のものに借換えておるということでございます。昨年度末にも1回、金額は正確には覚えておりません。約2,000万程度だったと思います。1回繰上償還をいたして借換えております。それから今回提案をさせていただきました金額2,200万余りの金額を借換え、定時のものに借換えて財政の健全化を図っていくという形になっておりますので、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議員（5番 野口昌作君） 議長、5番。

○議長（野口俊明君） 5番 野口昌作君。

○議員（5番 野口昌作君） もう一つ答弁漏れですけれども、今までなんぼ実行されたかということなんですね。21年度分がね。

○水道課長（船田晴夫君） 議長、水道課長。

○議長（野口俊明君） 水道課長、船田晴夫君。

○水道課長（船田晴夫君） わたしが記憶しております限りは、20年度末に1回2,000万程度借換えたのが最初だというふうに思っております。

○総務課長（田中 豊君） 議長、総務課長。

○議長（野口俊明君） 総務課長 田中 豊君。

○総務課長（田中 豊君） ただいまのご質問でございますが、借換えにつきましては、水道会計だけではございません。住宅新築会計においてもありますし、一般会計においてもあります。それから農業集落排水事業や下水道事業においても借換えを予定しております。借換えの時期でございますけれども、償還日がございます。規定のそれぞれ借入れ先で定められた償還日、3月1日、3月20日、3月25日、そういった償還日がございますので、県の承認を得てからその償還日に合わせて借換えるというのが通例でございますので、本年度におきましては、まだ全部の借換えはしておらない状況でございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○議長（野口俊明君） 他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（野口俊明君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。これから、議案第

16号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

[賛成者起立]

○議長（野口俊明君） 起立多数です。したがって、議案第16号は、原案のとおり可決されました。

閉会宣告

○議長（野口俊明君） これで、本臨時会の会議に付議された事件は全部終了しました。会議を閉じます。平成22年第2回大山町議会臨時会を閉会します。

○局長（諸遊雅照君） 互礼を行います。一同起立。礼。お疲れさまでした。

午前11時37分 閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する

議 長 野口 俊明

署名議員 大森 正治

署名議員 杉谷 洋一